

# Game Report

開催場所：日本経済大学 都築記念体育館

試合区分：第 24 回全九州大学バスケットボール戦

試合期日：2017 年 10 月 15 日(日)

試合時間：14:00～

主審：萩尾 繁治

副審：和田 敏文

九州産業大学	○ 80	16	—1st—	21	● 63	鹿屋体育大学
		30	—2nd—	15		
		23	—3rd—	10		
		11	—4th—	17		

## 第 1 ピリオド

鹿体大 #9 長谷川の 3 P シュートで第 1 ピリオドスタート。#0 池田、#43 横川のシュートも立て続けに決まり勢いに乗る鹿体大。一方九産大は、#58 鈴木、#11 金丸のバスケットカウントなどで得点を重ね、一進一退の攻防が続く。鹿体大は #9 長谷川の 2 本目の 3 P シュートが決まり、九産大は残り 6 : 3 8 タイムアウトを請求。その直後、#24 金城、#13 上良のシュートで少しずつ追いついていく。鹿体大は #20 若松のドライブからのシュートなどでさらに得点を重ね、21 - 16 鹿体大リードで第 1 ピリオド終了。

## 第 2 ピリオド

流れを掴みたい九産大は、#47 宮崎の 3 P シュートを皮切りに、#62 アレックス、#58 鈴木のシュートで一気に流れを掴む。たまたま鹿体大は残り 7 : 5 4 タイムアウトを請求。タイムアウト明け、#20 若松がオフェンスリバウンドからファウルを誘い、与えられたフリースローを確実に決め、その直後に #12 川尻も得点する。九産大は #62 アレックスのバスケットカウント、#30 松川の 3 P シュート、#11 金丸の 3 連続シュートで少しずつ点差を離す。終盤、鹿体大は #21 池浦のシュートで得点を重ねるも、九産大 #11 金丸、#47 宮崎、#30 松川の 3 P シュートで引き離し、46 - 36 九産大が逆転し第 2 ピリオド終了。

## 第 3 ピリオド

両チーム果敢に攻めるもなかなかシュートが決まらず、我慢の時間が続く。九産大 #47 宮崎がシュートを決めこの流れを打破する。直後、鹿体大 #21 池浦が得点するも、九産大 #11 金丸、#47 宮崎が立て続けに 3 P シュートを決める。中盤に差し掛かっても九産大 #11 金丸、#47 宮崎の勢いは止まらず 3 P シュートを決め続ける。鹿体大は残り 2 : 21 後半 2 回目のタイムアウトを請求。その後 #12 川尻、#0 池田がシュートを決めるも、九産大の流れをとめることはできず、69 - 46 で九産大が大きくリードし第 3 ピリオド終了。

## 第 4 ピリオド

九産大の流れを止めたい鹿体大は、#12 川尻が連続で得点する。一方九産大は #13 上良、#62 アレックスが決め返し、鹿体大は残り 5 : 26 早くも後半 3 回目のタイムアウトを請求する。タイムアウト明け、#43 横川の華麗なアシストから #21 池浦がシュートを決める。中盤、九産大はファウルが重なり、鹿体大は積極的にリングへ向かう。終盤 #43 横川の 3 P シュートが決まるも、最後まで九産大の勢いを止めることはできず、80 - 63、九産大勝利で試合終了。